

COLLABORATIVE EXHIBITION: KAWABATA RYUSHI + TAKAHASHI RYUTARO COLLECTION

コラボレーション企画展

May It Be Your Tale

ファンタジーの力

川端龍子 —— 高橋龍太郎コレクション



川端龍子《龍巻》 1933年、大田区立龍子記念館蔵



草間彌生《海底》 1983年、高橋龍太郎コレクション蔵 Photo by 安齋重男 ©YAYOI KUSAMA 画像転載不可

Kawabata Ryushi (1885-1966) is considered one of the great masters of modern Japanese-style painting. The Ryushi Memorial Museum was planned and designed by Ryushi himself and has a collection of more than 140 of his diverse works.

2024年12月7日[土] — 2025年3月2日[日]

December 7, 2024 – March 2, 2025
Ryushi Memorial Museum

大田区立龍子記念館

〒143-0024 東京都大田区中央4-2-1 ハローダイヤル 050-5541-8600

開館時間 | 9時～16時30分(入館は16時まで) 休館 | 月曜日(祝日の場合は開館し、その翌日に休館)、年末年始(12月29日～1月3日)

入館料 | 一般1000円、中学生以下500円 ※65歳以上、未就学児及び障がい者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料

主催 | (公財)大田区文化振興協会 協力 | 高橋龍太郎コレクション、医療法人社団こころの会、(有)BACH

後援 | 朝日新聞 ネットワーク報道本部 首都圏ニュースセンター



コラボレーション企画展

川端龍子+高橋龍太郎コレクション ファンタジーの力

COLLABORATIVE EXHIBITION
KANABATA RYUSHI + TAKAHASHI RYUTARO
COLLECTION

May It Be Your Tale

日本屈指のアートコレクターとして知られる精神科医・高橋龍太郎氏のコレクションを、日本画家・川端龍子(1885-1966)の作品と展示するコラボレーション企画展を、2021年に好評を博した「川端龍子vs.高橋龍太郎コレクション」に引き続き開催します。高橋氏が1990年代半ばから収集を始めた日本の現代アートのコレクションは、現在3,500点を越え、東京都現代美術館においては2024年に「日本現代美術私観：高橋龍太郎コレクション」として、高橋氏のコレクションの軌跡をたどる大々的な展覧会が開催されたところです。

今回の龍子記念館でのコラボレーション企画展では、「ファンタジー」をテーマに高橋龍太郎コレクションが所蔵する草間彌生や奈良美智、加藤泉、丸山直文、宮永愛子ら20名を超えるアーティストたちの作品を龍子作品とともに展示します。さらに新たな試みとして、ブックディレクター・幅允孝氏が各章のテーマに沿って選書した本を展示室に設置し、来館者がアートと本とおして想像の扉を開くことができる構成としています。川端龍子や現代を生きるアーティストたちの作品が織り成す世界から、鑑賞する皆さまそれぞれの「ファンタジーの力」を感じてみてください。

【出品作家(五十音順)】

川端龍子

青山悟、安藤正子、池田学、伊勢周平、大野智史、
樫木知子、加藤泉、草間彌生、小林孝亘、さわひらき、
杉戸洋、玉山拓郎、堂本右美、中村一美、奈良美智、
名和晃平、西ノ宮佳代、西村陽平、町田久美、
丸山直文、宮永愛子、目[mé]、李禹煥(全24名)

【龍子公園のご案内】

隣接する龍子公園では、龍子設計のアトリエと旧宅をご覧ください。開館日の1日3回、10:00、11:00、14:00から開門し、ご案内します。(30分程度)

旧川端龍子邸画室での展示「アトリエの異世界」

アトリエ内見学 | 国の有形文化財である龍子のアトリエ内に展示した加藤泉、西村陽平、宮永愛子の作品を鑑賞できる企画です。

13:30~14:00(開館日の各日先着15名)

アトリエ内での読書体験 | 龍子が制作に打ち込んだアトリエで、現代アートに囲まれながら幅允孝氏の選書した本を読む特別な時間を体験できます。11:30~13:00(開館日の各日先着8名、資料費一般200円、中学生以下100円)



川端龍子《花摘雲》1940年、大田区立龍子記念館蔵



宮永愛子《suitcase-key-》

2013年、高橋龍太郎コレクション 撮影：宮島径
©MIYANAGA Aiko, Courtesy of Mizuma Art Gallery



目[mé]《アクリルガス T-1#19》

2019年、高橋龍太郎コレクション



奈良美智《Rainy Day》

2002年、高橋龍太郎コレクション
©NARA Yoshitomo, Courtesy of Yoshitomo Nara



丸山直文《Island of Mirror》
2007年、高橋龍太郎コレクション Copyright the artist, Courtesy of Shingo Arts, Photo by Shigeo Muro



加藤泉《United》
2020年、高橋龍太郎コレクション 展示風景(東京都庭園美術館2020年)
撮影：佐藤祐介 ©2020 Yuzumi Kaio

ギャラリートーク

開催日 | 12月15日(日)、1月19日(日)、2月23日(日)
各日13:00~

地域連携企画事業 トークイベント

「川端龍子+高橋龍太郎コレクション コラボレーション企画展」

日時 | 2月9日(日) 13:30~15:00

会場 | 大田文化の森 多目的室

定員 | 抽選で100名 締切 | 1月22日(水) 必着



Ryushi Memorial Museum

Access | 4-2-1 Chuo, Ota-ku, Tokyo 143-0024
TEL: 050-5541-8600

- ・From JR Keihin-Tohoku Line Omori Sta. West Exit, take Tokyu Bus No.4 towards Ebaramachi Sta. Entrance, get off at Usuda-Sakashita bus stop and walk 2min.
- ・15-min. walk from Toei Asakusa Line Nishi-Magome Sta. South Exit

Information

Opening Hours | 9:00-16:30 (entrance closes at 16:00)

Admission | Adults:1000yen, Minors:500yen

Children under 6 and seniors over 65 are free

Closing Days | Mondays (When a national holiday falls

on a Monday, the Museum will be open and close on the following day)

大田区立龍子記念館

〒143-0024 東京都大田区中央4-2-1

ハローダイヤル | 050-5541-8600

記念館直通 | 03-3772-0680

<https://www.ota-bunka.or.jp/facilities/ryushi/>

【当館へのアクセス】

- JR京浜東北線 大森駅西口から東急バス4番「荏原町駅入口」行乗車「白田坂下」下車、徒歩2分
- 都営地下鉄浅草線 西馬込駅南口から南馬込桜並木通り(桜のプロムナード)に沿って徒歩15分